

新しい学校に新しい仲間

新年度が始まりました。4月10日には町内の各小学校で入学式が行われました。4月に開校した蘇陽南小学校で行われた初めての入学式。初々しい1年生13人が、上級生や保護者が見守るなか、新しい一歩を踏み出しました。



Contents 主な内容

- 4～6P…24年度予算
- 7P…町職員異動
- 16P…蘇陽南小開校式・入学式
- 20P…子育てフェスタ
- 21P…すくすく育て
- 24P…藤嶋 大輔さん



走り幅跳び(連続合成写真)



100m

**藤嶋 大輔さん
ロンドン
パラリンピック
に挑戦!**
九州チャレンジ陸上競技選手権大会



開会式では選手宣誓をしました。

3月18日、熊本県総合運動公園陸上競技場（KKウイング）で第15回九州チャレンジ陸上競技選手権大会が行われました。ロンドンパラリンピックの出場選手を選考する最後の大会となったこの大会。藤嶋大輔さん（井無田）がT44クラス（下肢切断）の100mと走り幅跳びに挑みました。この大会には、障がいによりクラス分けされたトラック・フィールドの各種目に、全国から145人がエントリー。記録と、ロンドンパラリンピックへの出場を目指して、全選手がチャレンジしました。しかし、競技開始前から降り続く雨。雨と寒さという悪天候が加わり、チャレンジはより厳しいものとなっていきます。「本当に最悪の天気でした。3月の大会は寒いので、ただでさえ厳しいのですが、今回は雨まで降って、状況は良いとは言えませんでした。しかし、条件は全選手同じ。気にしないようにレースに臨みました。」そう語った藤嶋さん。厳しい条件のなか、まずは100mに挑みます。

100mは、昨年大分の大会で出した12秒46という記録で、参加B標準記録を突破していましたが、今大会では後半の伸びがなく、12秒72というタイムに終わりました。

続いて臨んだ走り幅跳び。この種目も今シーズン自己ベストを出して

好調でしたが踏み切りが合わず、思うような跳躍ができません。結局、両種目ともに目標に届かず、ロンドンパラリンピックへの出場は非常に厳しくなりました。大会後、藤嶋さんに今大会の結果について聞きました。

「今シーズンは、海外遠征や合宿などで競技力の強化を図ってきました。自己ベストも出ていただけに悔しい。体調は万全でしたが、結果が全ての世界、これが今の私の実力です。しかし、課題も見えてきました。克服には、長期的で継続的な練習を行う必要があります。まだまだやれるし、記録も伸びると感じているので、今まで以上にトレーニングに励みます。」

藤嶋さんは現在26歳。ロンドン以降のパラリンピック出場も、決して遠い夢ではありません。今後の目標について藤嶋さんは、「練習環境などでは、トップ選手に比べると不利なところもあります。しかし、今の環境でできる限りの努力をして、競技者としてがんばっていききたい。たくさんの方に応援していただいているので、期待に応えられるようにこれまで以上の活躍を目指します。そして誰かの「目標」となる人になりたいです。」

藤嶋さんのチャレンジは続きます。